

相談内容/問合せ先	開催日	時間	場所/備考
人権なんでも相談* 人権擁護委員が相談に応じます。 ※申込不要 ☎ 大津地方事務局 甲賀支局総務係 ☎ 62-1828 / ☎ 62-1748	1月6日(月) 1月7日(火) 1月8日(水) 1月9日(木) 1月10日(金)	13時30分～16時	土山地域市民センター 甲南公民館(忍の里プララ) 甲賀大原地域市民センター 水口社会福祉センター 信楽開発センター
法律相談* 定員/先着6人(1人30分) ※要予約(開催日の2週間前から9時～17時受付) 相談員/滋賀弁護士会所属の弁護士 ☎ 甲賀市社会福祉協議会 ☎ 62-8085 / ☎ 63-2021	12月19日(木) 12月26日(木) 1月9日(木) (12月19日(木)～受付)	13時～16時	水口社会福祉センター
結婚相談(婚活支援) 結婚相談員が相談に応じます。※申込不要 持ち物/顔・全身が写った写真1枚 ☎ 政策推進課 市民活動推進室 ☎ 69-2114 / ☎ 63-4554	12月21日(土)	13時～16時	市役所 別館
就労相談* 就職・転職のための情報提供や公共職業安定所への取り次ぎを行います。 ※申込不要 ※年末年始を除く ☎ 商工労政課 商工労政係 ☎ 69-2188 / ☎ 63-4087	12月17日・24日・1月7日・14日(火) 12月18日(水) 12月25日(水) 1月8日(水) 毎週木曜日(祝日は除く) ※要予約(2日前まで)	9時30分～11時30分 および 13時30分～15時30分 13時30分～15時30分	市役所 商工労政課 甲南公民館(忍の里プララ) 信楽開発センター 甲賀大原地域市民センター 市役所 商工労政課または地域市民センター
生活・仕事の相談(生活支援窓口)* 生活の不安や仕事などの心配に関する相談に応じます。 ※申込不要 対応者/相談支援員、就労支援員 ☎ 生活支援課 生活支援係 ☎ 69-2158 / ☎ 63-4085	毎週月～金曜日 (祝日、年末年始を除く)	8時30分～17時15分	市役所 生活支援課 生活支援窓口
行政相談 医療保険・年金・雇用・道路のことなどへの相談・意見などを受け付けます。※申込不要 対応者/行政相談委員(総務省委嘱) ☎ 滋賀行政監視行政相談センター ☎ 077-523-1100	12月18日(水) 12月20日(金) 1月6日(月) 1月6日(月) 1月9日(木)	13時30分～15時30分	信楽図書館 甲南公民館 水口社会福祉センター 土山地域市民センター かふか生涯学習館(甲賀)
消費生活相談 消費生活における契約や商品などに関する相談に応じます。 対応者/消費生活相談員 ☎ 消費生活センター ☎ 69-2147 / 消費者ホットライン ☎ 局番なしの188	毎週月～金曜日 (祝日、年末年始を除く)	9時～17時	市役所 1階 消費生活センター
年金相談 相談員/草津年金事務所職員 ※要予約 ☎ 甲 草津年金事務所 ☎ 077-567-1383(予約専用) / ☎ 077-562-9638(予約専用)	1月9日(木)	10時～15時	水口社会福祉センター 2階 中会議室
税務相談 税理士が、税務相談に応じます。 定員/先着6人(1人30分) ※要予約 ☎ 甲 公益社団法人水口納税協会 ☎ 62-1151 / ☎ 63-0173	1月8日(水)	13時30分～16時30分 (受付16時まで)	水口納税協会 3階 会議室
育ちと学びの相談* 発達やこころの悩みなどの相談 ※電話・FAXで相談の予約をしてください。 対象/おおむね4歳以上の幼児、小・中・高校生～青年期の方(25歳ごろまで) ※おおむね4歳までのお子さんの相談はすこやか支援課(☎69-2169)にお問い合わせください。 ☎ 甲 発達支援課 ☎ 69-2179 / ☎ 69-2298 (受付時間 9時～17時)			園や学校、市役所など
青少年悩みごと相談* 不登校、いじめ、非行、不良行為、交友関係、就労・就学などの相談 ※月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)の9時～16時、電話・Eメールでも相談に応じます。 ☎ 少年センター(水口中央公民館別館2階) ☎ 62-6010 / ☎ 63-3977 Eメール: k-syonen@city.koka.lg.jp			

まちかど 特派員のページ



こうかまちかど特派員
なかむら たくや
中村 卓也

甲賀市から滋賀県を演劇で盛り上げたい ～演劇集団deer deep公演レポート～
 甲賀市を中心に活動する演劇集団deer deepの第2回プロデュース公演『いつか、きっと、空の下で』が10月13日、碧水ホールで行われました。今回はその公演の様子をレポートします。

「台風にもめげずに開催

当初は10月12日、13日の2日間の公演の予定でしたが、台風の影響により、12日の公演は中止となりました。13日も台風が過ぎたあとの天気心配されましたが、無事に公演が行われ、53人のお客様が来場されました。

「不妊治療や流産についてもっと理解を

今回の作品のテーマは不妊治療、流産、妊娠出産です。



▲公演に向けミーティングをするスタッフ

「当たり前のように妊娠し、当たり前のように出産する人がいる反面、なかなか授からずに苦しんでいる人やお腹の中に命が宿ったものの残念ながら流産という悲しい結果になってしまふ人、そういう人が少なからずいるという事を幅広い年齢層のたくさんの方々に知っていただきたいという想いから今回の作品を書き上げました。」と語るのは今回の公演で脚本、演出を担当する竹山香さん。不妊治療や流産、妊娠、出産について色々と考えさせられます。

「演劇でさまざまな可能性を追求

演劇集団deer deepは2012年、以前大阪のタレント養成所に所属していた中島和彦さんの「甲賀市に劇団を創りたい」という想いから誕生しました。当時甲賀市周辺に劇団はなく、芝居をやることさえ、大津市や米原市に足を運ぶしかありませんでした。そこで知人から「地元で劇団があれば」という声が多く、中島さんは劇団創設を決意。2012年11月に演劇集団deer deepは誕生しました。deer deepとはdeer(鹿)、deep(深)で鹿深(甲賀の古い表記)を意味し、地元甲賀市に根を張ろうと言う想いから名付けられました。去年は第1回プロデュース公演『君の夢の中で逢おう』では、124人もの観客から惜しみな拍手が送られました。

中島さんは、「演劇をまちおこしのツールの一つとして考えるようになりました。演劇の力で地元を盛り上げたい。これからも魅力を発信していきます。」と話されていました。不妊治療や流産、妊娠、出産。これも今の少子高齢化、人口減少社会を考える上でとても重要なテーマだと思えます。来年も公演をされる予定なので果たしてどんなテーマの演劇が見られるのか、今から楽しみです。



▲▲迫真の演技を見せるメンバー



▲公演の準備をするスタッフ

